AirMac カード

ユーザーズガイド

AirMac カードと AirMac ソフトウェアについての情報が書かれています

AirMac カードについて

コンピュータに「AirMac カード」を取り付けると、以下のような操作をすることができます。

- ご家庭、学校、職場、またはインターネットの「ホットスポット」で AirMac ネットワークにアクセスして、インターネットのブラウズやメールの送受信などができます。
- AirMac を装備した 2 台以上のコンピュータ間でのネットワークを構築できます。このネットワークを利用して、ファイルを転送したり、マルチプレイヤーゲームで遊んだりすることができます。
- コンピュータをほかのコンピュータとインターネット接続を共有するように設定します。
- アップルの「AirMac Extreme ベースステーション」または「AirMac ベースステーション」を使って AirMac ネットワークを設定します。「AirMac Extreme ベースステーション」は、アップル正規販売代理店または www.apple.com/japanstore/ の Apple Store で購入することができます。

重要 「AirMac カード」と一緒に「AirMac Extreme ベースステーション」を購入した場合は、「AirMac カード」を取り付けてから、そのベースステーションに付属の取扱説明書に従って「AirMac Extreme ベースステーション」を設定してください。この冊子で説明している「AirMac 設定アシスタント」でも、同様に「AirMac Extreme ベースステーション」を設定できます。「AirMac 設定アシスタント」を 1 度使用すれば、「AirMac Extreme ベースステーション」を設定したり、AirMac ネットワークにアクセスできるようにコンピュータを設定できます。

「AirMac カード」は、すべてのバージョンの「AirMac ベースステーション」と互換性があります。

AirMac について

AirMac は、ご家庭や教室内、または小規模のオフィスのどこからでもワイヤレスでインターネットにアクセスできる、簡単、高速で安価な方法を提供するテクノロジーです。AirMac は、従来のようにケーブルを使ってネットワークを構築する代わりに、ワイヤレス LAN（Local Area Network）のテクノロジーを使ってコンピュータ間でのワイヤレス通信を可能にします。

AirMac の仕組み

従来のネットワークでは、コンピュータは、情報を転送するために一連のケーブルで接続されます。AirMac を使うと、電波を使ったワイヤレスネットワークを介してコンピュータ間でデータは転送されます。

ワイヤレスネットワークを構築するには、3 つの方法があります。

- AirMac が装備されたコンピュータを使って一時的なコンピュータ間のネットワークを構築します。通信圏内にある AirMac が装備されたほかのコンピュータは、このネットワークに接続できます。
- 「共有」環境設定の「インターネット」パネルを使って、AirMac が装備されたコンピュータを、AirMac を使用するほかのコンピュータとインターネット接続を共有するように設定します。
- 「AirMac Extreme ベースステーション」を使って、より恒久的なワイヤレスネットワークを構築します。このようなネットワークでは、すべてのワイヤレス通信はベースステーションを経由してから、ネットワーク上のほかのコンピュータやインターネットに接続されます。

AirMac がワイヤレスのインターネットアクセスを提供する方法

以下の方法で、AirMac を使って AirMac が装備されたコンピュータにインターネットアクセスを提供できます。

- 「AirMac Extreme ベースステーション」（アップル正規販売代理店または www.apple.com/japanstore/ の Apple Store で購入できます）を、学校や小規模のオフィスなどのすでにインターネットにつながっている既存のネットワークに接続します。
- ケーブルモデムまたは DSL モデムを「AirMac Extreme ベースステーション」に接続します。ベースステーションに内蔵モデムがある場合は、電話回線に接続します。「AirMac Extreme ベースステーション」はインターネットへの接続を確立すると同時に、ワイヤレスネットワークを構築して、複数のコンピュータがそこからインターネットへアクセスできるようにします。

参考：AirMac を使ってインターネットにアクセスするときは、インターネットサービスプロバイダのアカウント（別途費用が必要になる場合があります）が必要です。インターネットサービスプロバイダ（ISP）の中には、現在 AirMac に対応していないものもあります。

AirMac をお使いのインターネットアカウントで使用する方法について詳しく知りたいときは、ISP に問い合わせるか、または www.apple.co.jp/support にあるアップルのサポートの Web サイトを利用してください。

コンピュータで AirMac を使うように設定にする

手順 1：AirMac カードを取り付ける必要はありますか？

新しいコンピュータと一緒に「AirMac カード」を購入した場合は、カードはあらかじめ取り付けられています。「AirMac カード」を単体で購入した場合は、自分で取り付ける必要があります。「AirMac カード」の取り付け方法はコンピュータに付属のマニュアルに記載されています。また、www.apple.co.jp/support にあるアップルのサポートの Web サイトにも掲載されています。

参考：あらかじめ AirMac が装備されている G3 iMac の場合、「AirMac カード」を iMac に接続するためには「AirMac カード」のアダプタが必要になります。「AirMac カード」のアダプタ（M8753）は、アップル正規販売代理店、アップル製品取扱店、または www.apple.com/japanstore/ の Apple Store で購入することができます。

「AirMac カード」は標準的な PC カードではありません。PowerBook コンピュータに「AirMac カード」を取り付ける場合は、PowerBook に付属の説明書に記載されている取り付け方法に従ってください。「AirMac カード」を PowerBook の PC カードスロットに取り付けないでください。

> **警告** 「AirMac カード」は、コンピュータによってはご自分で取り付けられるように設計されています。コンピュータに付属の説明書の取り付け方法を読んでもカードの取り付けに不安を感じる場合は、アップル正規サービスプロバイダに取り付けを依頼することができます。取扱説明に従って作業すれば、コンピュータを壊す心配はありません。ただし、ご自分で「AirMac カード」の取り付け作業をした場合、作業の結果生じた装置の故障にコンピュータの製品保証は適用されません。製品保証について詳しく知りたいときは、アップル正規販売代理店またはアップル正規サービスプロバイダまでお問い合わせください。アップル正規サービスプロバイダやアップルの連絡先は、コンピュータに付属のサービスとサポートに関する資料に記載されています。

AirMac カードの AirMac ID を覚えておかなければなりませんか？

学校やオフィスの大規模なワイヤレスネットワークでコンピュータを使うことを考えている場合は、自分の「AirMac カード」の AirMac ID（「MAC アドレス」とも呼ばれます）をネットワーク管理者に教える必要がある場合があります。ネットワーク管理者はネットワークのセキュリティを強化するために AirMac ID を使用できます。AirMac ID は、「AirMac カード」に貼られたラベルに印刷されている 12 桁の文字です。また、「ネットワーク」環境設定を開いて「設定」ポップアップメニューから「AirMac」を選び、「AirMac」タブをクリックして、AirMac ID を確認することもできます。

AirMac アンテナを取り付ける必要はありますか？

いいえ。「AirMacカード」が使用するアンテナは、コンピュータにあらかじめ内蔵されています。

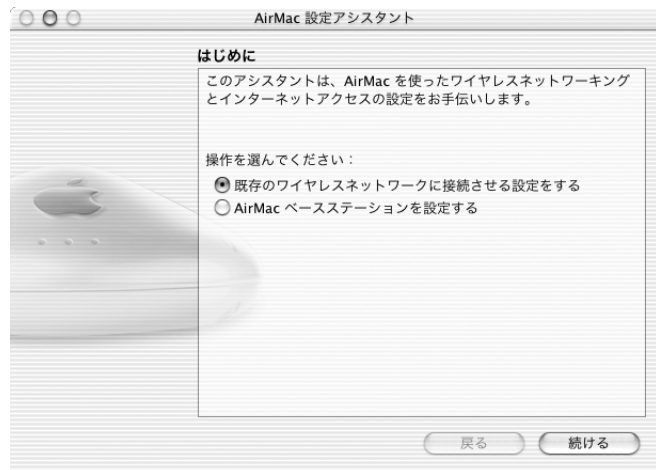
手順 2： コンピュータで AirMac を使うように設定にする

すでに構築されたワイヤレスネットワーク（たとえば、学校やオフィスなど）でコンピュータを使用する場合は、次のように操作します。

1 AirMac ソフトウェアがコンピュータにインストールされていることを確かめます。

- 新しいコンピュータと一緒に「AirMac カード」を購入した場合は、AirMac ソフトウェアはあらかじめインストールされています。AirMac CD は付属していないことがあります。

参考：コンピュータにAirMacソフトウェアの最新バージョンがインストールされていることを確かめるときは、「システム環境設定」を開き「ソフトウェアアップデート」をクリックするか、www.apple.co.jp/airmac にあるアップルの AirMac の Web サイトを参照してください。

2 ハードディスク上の「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダにある「AirMac 設定アシスタント」を開きます。コンピュータを既存の AirMac ネットワークにアクセスできるように設定するときは、「既存のワイヤレスネットワークに接続させる設定をする」を選択します。

AirMac カードが見つからないというエラーメッセージが表示されたときは：

- コンピュータのシステムを終了し、「AirMac カード」が正しい向きで取り付けられていることと、「AirMac カード」スロットに確実に差し込まれていることを確かめてください。また、AirMac アンテナがカードにしっかりと接続されていることと、カードのもう一端にあるコネクタが AirMac カードスロットのコネクタに確実に差し込まれていることを確かめてください。

接続したいネットワークが見つからないときは：

- 「AirMac Extreme ベースステーション」の通信圏内にいることを確かめてください。通常の AirMac ネットワークの範囲は、ベースステーションを中心とする半径 45 m です。
- ネットワークへの接続を妨げる可能性のある干渉源（たとえば、コードレス電話、電子レンジ、金属の壁など）から離れてみてください。干渉源の詳細なリストについては、www.apple.co.jp/airmac にある書類「AirMac Extreme ネットワークの構築」を参照してください。

手順 3：必要に応じて、AirMac Extreme ベースステーションを設定する

「AirMac カード」と一緒に「AirMac Extreme ベースステーション」を購入した場合は、次のように操作します。

1. 必要に応じて、コンピュータに「AirMac カード」を取り付けます。
2. この冊子の残りの手順を省略し、ベースステーションに付属の取扱説明書に従って「AirMac Extreme ベースステーション」を設定します。

手順 4：ワイヤレスネットワークに接続する

AirMac ワイヤレスネットワークに接続するときは、AirMac のステータスメニューからネットワークを選びます。非公開ネットワークに接続する場合は、リストから「その他」を選んで、ネットワークの名前とパスワードを入力します。

参考：メニューバーに AirMac のステータスを表示するときは、「システム環境設定」を開き、「ネットワーク」をクリックします。「表示」ポップアップメニューから「AirMac」を選び、「AirMac」タブをクリックします。「メニューバーに AirMac ステータスを表示する」チェックボックスにチェックマークを付けます。

128 ビット暗号化技術を使用したワイヤレスネットワークに接続する

128 ビット暗号化技術を使用しているサードパーティのワイヤレスネットワークに接続する場合、ネットワーク管理者が設定したパスワードの形式によって、パスワードの入力方法が異なります。

13 文字のパスワードが割り当てられている場合、パスワードの前後に半角のダブルクォーテーションマーク（"）を追加しなければならない場合があります。13 文字のパスワードでは通常大文字／小文字が区別されます。

例： `"password12345"`

26 文字のパスワードが割り当てられている場合、パスワードの先頭に半角のドルマーク（$）を追加しなければならない場合があります。

例： `$12345678901234567890abcdef`

128 ビットパスワードについての詳細は、ネットワーク管理者に確認してください。

ワイヤレスネットワークの設定

「コンピュータとコンピュータ」ワイヤレスネットワークを組んでいる場合や、AirMac を使ってほかのコンピュータとインターネット接続を共有する場合、AirMac の初期設定では、40 ビット暗号化技術がネットワークを保護するパスワードに使用されています。128 ビット暗号化技術に対応した AirMac カードを装備したコンピュータは、40 ビット暗号化技術を使用しているネットワークに接続します。ネットワークに 128 ビット暗号を使用する場合は、13 文字の 128 ビットパスワード（ダブルクォーテーション（"）が必要なことがあります）を使ってください。その場合ネットワークに接続できるのは、128 ビット暗号化技術に対応した AirMac カードを装備したコンピュータだけになります。

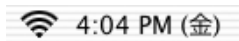
インターネット接続を共有するようにコンピュータを設定するときは、「共有」環境設定を開き、「インターネット」タブをクリックし、接続を共有する方法を選択します。AirMac を使ってコンピュータのインターネット接続を共有する場合は、「AirMac オプション」ボタンをクリックし、ネットワークに名前とパスワードを付けます。

インターネット接続をワイヤレスで共有するように設定されているコンピュータは、「ソフトウェアベースステーション」とも呼ばれています。

次のステップ

その他の AirMac ソフトウェア

「AirMac 設定アシスタント」のほかにも、AirMac で動作する以下のソフトウェアを使用することができます。

	AirMac 管理ユーティリティ 「アプリケーション」フォルダ内の「ユーティリティ」フォルダにある「AirMac 管理ユーティリティ」は、「AirMac Extreme ベースステーション」を詳しく設定したり、管理したりするためのツールです。ネットワーク、ルーティング、およびセキュリティの設定や、その他の詳しい設定を調節するときは、「AirMac 管理ユーティリティ」を使用してください。
	メニューバーの AirMac のステータスアイコン ほかの AirMac ネットワークにすばやく切り替えたり、現在のネットワークの信号の状態を監視したり、AirMac を開始または停止したりするときは、AirMac のステータスアイコンを使用します。

AirMac について詳しく知りたいときは、「ヘルプ」メニューから「AirMac ヘルプ」を選び、参照してください。「AirMac Extreme ベースステーション」を使って AirMac ネットワークを構築する方法、ベースステーションの設定を編集する方法、干渉源を避ける方法、インターネットにある詳しい情報の場所などが記載されています。

AirMac ネットワークの構成の詳細な情報については、www.apple.co.jp/airmac にある書類「AirMac Extreme ネットワークの構築」を参照してください。

「AirMac ヘルプ」および「AirMac Extreme ネットワークの構築」のほかに、以下のアップルの Web サイトにも詳しい情報が掲載されています。

- www.apple.co.jp/airmac にあるアップルの AirMac Web サイト
- www.apple.co.jp/support にあるアップルのサポートの Web サイト

必ず、www.apple.co.jp/registration で「AirMac カード」を登録してください。

AirMac カードの仕様

- ワイヤレスデータ通信速度： 最大 11 Mbps（メガビット／秒）
- 通信可能範囲： 通常の屋内での使用でベースステーションを中心とした最大 45 m（建物によって変わります）
- 周波数帯域： 2.4 GHz（ギガヘルツ）
- ワイヤレス出力： 15 dBm（公称値）
- 規格： 802.11 HR の DSSS（Direct Sequence Spread Spectrum）による 11 Mbps の規格、および 802.11 の DSSS による 1 Mbps と 2 Mbps の規格案に準拠

Communications Regulation Information

FCC Declaration of Conformity

This device complies with part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. See instructions if interference to radio or television reception is suspected.

Radio and Television Interference

The equipment described in this manual generates, uses, and can radiate radio-frequency energy. If it is not installed and used properly—that is, in strict accordance with Apple's instructions—it may cause interference with radio and television reception.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device in accordance with the specifications in Part 15 of FCC rules. These specifications are designed to provide reasonable protection against such interference in a residential installation. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

You can determine whether your computer system is causing interference by turning it off. If the interference stops, it was probably caused by the computer or one of the peripheral devices.

If your computer system does cause interference to radio or television reception, try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Turn the television or radio antenna until the interference stops.
- Move the computer to one side or the other of the television or radio.
- Move the computer farther away from the television or radio.
- Plug the computer into an outlet that is on a different circuit from the television or radio. (That is, make certain the computer and the television or radio are on circuits controlled by different circuit breakers or fuses.)

If necessary, consult an Apple-authorized service provider or Apple. See the service and support information that came with your Apple product. Or, consult an experienced radio/television technician for additional suggestions.

Important Changes or modifications to this product not authorized by Apple Computer, Inc., could void the FCC Certification and negate your authority to operate the product.

This product was tested for FCC compliance under conditions that included the use of Apple peripheral devices and Apple shielded cables and connectors between system components. It is important that you use Apple peripheral devices and shielded cables and connectors between system components to reduce the possibility of causing interference to radios, television sets, and other electronic devices. You can obtain Apple peripheral devices and the proper shielded cables and connectors through an Apple-authorized dealer. For non-Apple peripheral devices, contact the manufacturer or dealer for assistance.

Responsible party (contact for FCC matters only): Apple Computer, Inc., Product Compliance, 1 Infinite Loop M/S 26-A, Cupertino, CA 95014-2084, 408-974-2000.

FCC Wireless Compliance

The antenna used with this transmitter must not be colocated or operated in conjunction with any other antenna or transmitter subject to the conditions of the FCC Grant.

Industry Canada Statement

This Class B device meets all requirements of the Canadian interference-causing equipment regulations.

Cet appareil numérique de la Class B respecte toutes les exigences du Réglement sur le matériel brouilleur du Canada.

VCCI クラス B 基準について

情報処理装置等電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

Europe–EU Declaration of Conformity

This device complies with the specifications EN 300 328, EN 301-489 and EN 60950 following the provisions of the R&TTE Directive.

J034-2252-A
Printed in Taiwan